

第6学年社会科指導略案

日 時 平成29年12月12日(火) 5校時
 指導学級 6年1組 男15名女16名計27名
 指導者 菅野 純

消費者教育の視点

- ・よりよい意思決定能力を身に付ける。
- ・「欲しいもの」「必要なもの」の2つの視点から、消費行動を考える。
- ・生活を設計・監理する能力を身に付ける。

(1) 目標

○「欲しいもの」と「必要なもの」の2つの視点を持ち、現代の生活に必要なものは何か考えることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・活動	留意点(※) 評価(☆)
導入 一〇分	1 既習事項の確認 ・戦後、産業が大きく発展したことを確認する。 2 学習課題の把握 産業が発展するにつれて、人々の生活はどのように変化したのだろう。	・敗戦後、独立を回復し、東京オリンピックを開くまでの間に、産業が急速に発展していったことを確認する。
展開 二五分	3 予想 ・高速道路 ・新幹線 ・飛行機 4 学習問題の追究 (1) 東京オリンピック以降の変化をまとめる。 ・新幹線、高速道路の整備 ・外国との貿易、工業国へ ・都市の人口増加、若者の流入 ・高度経済成長と公害 (2) 便利で快適な暮らしへの変化 ・三種の神器。 ・3C。 (3) 今の時代の三種の神器を考える。	※教科書資料ア「東海道新幹線の開通」、資料イ「高速道路の建設」からモノの移動が増え、経済の発展につながることを想起させる。 ※5年生での公害の学習を想起させる。 ※教科書資料ウ「電気製品を選ぶ人々」・エ「デパートのクーラー売場」・オ「電気製品の普及」を関わらせて考えさせる。 ※生活に「欲しいもの」と「必要なもの」という視点で考えさせる。 ☆現代の生活に不可欠な三品を考えている。(観察、発言)
終末 一〇分	5 学習のまとめ (1) 予想と学習内容の比較。 (2) 学習問題に対するまとめ。 産業が発展して、日本は世界有数の工業国になり、国民の暮らしが向上した。一方で、公害問題も起こった。 (3) 次時の予告を行う。	☆学習内容を、学習した言葉を使ってまとめている。(観察、ノート)

実践後の考察

1 授業で出た児童の考え

スマートフォン、パソコン、4Kテレビ、録画できるテレビ
ルーター、露天風呂、広い庭、

2 成果

・戦後の産業の発展について学習した後の活動として、「現代版三種の神器」を考える学習を設定したことで、学習したことを活用して考えることができた。

3 課題

・本時の中で、戦後の産業の発展を学習した後で「現代版三種の神器」を考える学習内容を考えたが、時間の確保が難しかった。2時間扱いにするなどの工夫が必要だった。

・「三種の神器」や「3C」が当時の生活の中で努力すれば手に届くという夢の商品であり、新しい生活の象徴であったという点の抑えが不十分であったがために、高価なもしくは家にはない欲しいものという捉えになってしまったグループがあった。何を考えさせたいのかが明確になるような発問を考える必要があった。

・過去の「三種の神器」や「3C」を踏まえて、「現代版三種の神器」を考えさせようとしたが、子どもたちの思考の手助けとなる資料が不足していた。4の改善のための資料にあるような比較資料を提示することで、子ども達は、物価や生活の中で必要なものなどを基準に選択することができたのではないかと考える。

4 改善のための資料

社会科ワークシート 名前 _____

課題

産業が発展するにつれて、人々の生活はどのように変化したのだろう。

三種の神器（1950年代後半）

		
白黒テレビ (約10万円)	洗濯機 (約2万5千円)	冷蔵庫 (約5万5千円)

※参考…大卒初任給 1か月 8,700円 そば・うどん 30円 (1955年ごろ)

3C（1960年代後半）

		
カラーテレビ (約20万円)	クーラー (約10万円)	車 (約41万円)

※参考…大卒初任給 1か月 19,610円 そば・うどん 50円 (1965年ごろ)

現代版「三種の神器」を考えよう！

()
()
()

自分だったら、どんなものを「三種の神器」と考えますか？下の品物も参考に考えてみましょう。

		
4Kテレビ (10万円)	犬 (M子犬) (約40万円)	ロボット掃除機 (約5万円)
		
家 (約1000万円)	風呂 (約250万円)	スマホ (約8万円)
		
マッサージチェア (約20万円)	高級車 (約400万円)	ノートパソコン (約10万円)

※参考…大卒初任給 1か月 200,000円 そば・うどん 630円 (2015年ごろ)